

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2740

APRIL

Vol. **10**

2023.4



武雄温泉楼門(国の重要文化財)

Rotary



ガバナー
月信

2022-2023年度
国際ロータリー第2740地区

ガバナー 上村 春甫

2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ



イマジン ロータリー

index

ガバナーメッセージ	2
寄稿 ファシリテーションとR L I	3
ロータリー財団委員会報告	
グローバル補助金奨学生生活動報告2	5
「識字率向上」に向けた2740地区ロータリー財団の国際支援事業	6
国際青少年交換委員会報告	7
第1・第2グループ合同、インターシティミーティング (IM) 報告	10
2023年1月会員数・出席報告	12
新会員紹介	13
寄付者紹介	14
肥前國の風景	裏表紙

表紙説明 | 武雄温泉楼門（国の重要文化財）

武雄温泉のシンボルとも言えるこの楼門は、竜宮城を連想させる鮮やかな色彩と形で、天平式楼門と呼ばれ、釘を一本も使っていない独創的な建築物です。

設計者は日本近代建築の父と呼ばれる唐津出身の建築家で東京駅を設計した『辰野金吾』で、大正4年（1915年）に完成し、平成17年（2005年）に国の重要文化財に指定されています。

表紙・本文帯 「月信」揮毫

牛島 征四郎
(佐賀RC)



「母子の健康」月間について



2022-2023年度 第2740地区 ガバナー 上村 春甫

春和の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は、慌ただしかった期末月の3月が過ぎ、4月に入って多くの新しい命の息吹を感じ心穏む思っているところです。

新しい命の息吹といえば、今月は「母子の健康」月間です。それについて述べたいと思います。

「母子の健康」は、先々月来述べていますが、「平和と紛争予防／紛争解決」「疾病予防と治療」「水と衛生」「基本的教育と識字率向上」「経済と地域社会の発展」「環境保護」と並ぶ、国際ロータリーが世界の中で最も支援を必要とする人道的奉仕ニーズとして捉えている7つの重点分野のひとつです。

毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人ですが、その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことがあってはならないとロータリーは考え、2014年10月R I理事会は4月を「母子の健康」月間とし、5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間としました。

以上のような経緯のもと、ロータリー財団は、

- ① 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率との削減
- ② 妊婦の死亡率と罹患率との削減
- ③ より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療／保健関係のリーダーと医療提供者を対

象とした母子の健康に対する研修

- ④ 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援

といった形で、「母子の健康」改善を支援しています。

一方、2016年11月、東京、国連大学で、「母子手帳」に携わる人や関心をもつ人々が集う国際会議が開催され、我が国において「母子健康手帳」の使用により乳幼児死亡率が低下していることが実証され、現在、我が国の「母子健康手帳」をモデルにして、母や子の健康状態を記録する手帳は世界80の国・地域で作られているそうです。「母子健康手帳」は1942年に「妊産婦手帳」として始まり、妊娠から乳幼児期までの健康記録を1冊にまとめ、出産や子育てに必要な情報を得る手段として活用され、1947年に「母子手帳」、1966年に「母子健康手帳」と名前が改められ内容の充実が図られています。もともと我が国においては、「母体」や「子ども」を大切にしている伝統があります。例えば、江戸時代においては「産婆さん」は大名行列を横切っても許されました。また、幕末から明治初期に日本を訪れた欧米人の多くが、日本の子ども達が様々な遊戯をしてにぎやかに遊んでいる様子や、礼儀正しくしつけられている姿、大人達が子どもを大切に、子どもと遊び、子どもの成長を楽しみにしている様子を、驚きと好感、そして賛嘆をもって記録しています。「母子の健康」月間にあたり、こういうことも改めて認識している次第です。

今後とも、我が国の伝統も踏まえつつ、ロータリーでの活動を通じて「母子の健康」改善に貢献していきたいと思っています。

パストガバナー 千葉 憲哉 (諫早北RC)

はじめに

第2740地区ではRLIの講習会が開かれ、嬉しい事に参加者が増えております。しかし、問題は「ファシリテーション=RLI」であると勘違いしている方が多いということです。そこで今回はその違いを説明します。最初に結論を述べます。

ファシリテーションとは会議のやり方であり、RLIとはそのやり方を利用してロータリアンを指導者に育成する方法論です。だから、ファシリテーション形式の会議に慣れることなく、ファシリテーションの意義さえ知ることなく、いきなりRLIの受講を受けることは、折角のリーダー育成プログラムとしてのRLIの講習会の意義そのものが薄れると思うのです。

国際協議会で経験したファシリテーション



私は2019年サンジェゴで国際協議会というガバナーになるための講習会を受講いたしました。そこでは1週間にわたり、朝9時から夕方5時まで2時間ごとの会議、会議の連続でした。しかし、長時間にわたる講習会でも私は退屈しませんでした。なぜなら、私がそれまでに経験した会議とは全く異なる会議形式だったのです。それはファシリテーション形式の会議でした。講演者はいなくて、ファシリテーターという司会者がいるだけです。しかも、白板に会議のテーマを記載し、会議の参加者に一人ずつ意見を出し合い、次第にそのテーマについての熱を帯びた討論になってゆきました。会議の終了するころにはそのテーマについての自分の考えが頭の中に構築できました。まさにチーム全員ブレインストーミングの状態でした。司会者(木下光一国際ロータリー研修リーダー)は「本日のテーマの結論はありません。参加者一人一人が自分で自分なりの結論を出してください。それを日本の地区に持ち帰ってください。そのことがあなた方がガバナーとしてリーダーになった時、自信をもって、自分はこう考えると言えるので

す。参加者全員の考えを真剣に考え、一人の考えより参加者全員の考えに触れ、自分の考えの欠点も自ら理解できるのです。」と説明されたのです。そして最後に「これがファシリテーション形式の会議です。」と付け加えられました。

何故、ファシリテーションが必要か？

私は講演型の会議になれていましたし、自分が一方的な講演者になることをリーダーの必須要件と考えていましたから、ファシリテーション形式の会議のあり方に驚きました。国際協議会のテーマは会議の回数だけ盛沢山でした。でも「ロータリーとは？」のテーマは無く、地区でこんなことが起きたらあなたはどうする？などのテーマばかりで、自ら考えることを求められました。日本へ帰る頃には頭の中は帰ったら地区でこうしよう。あーしよう。と頭の中はフル回転でした。すなわち私の脳は活性化されたのです。このことが国際協議会の最大の収穫でした。そして帰国後、地区チーム研修セミナーが始まったのでした。地区内の問題にも自分で考える習慣が身につきました。そこで2019年度を地区目標には地区にファシリテーションの実施する事としました。現在もこの企画は地区長期戦略として続けられています。また、私はこの方法を職場にも持ち込むこととしました。職場での会議の場で一方的に自分が言いたいことを述べるだけで、聞き手の意見を聞いていなかったことに気が付きました。いわゆるトップダウンの弊害です。講習会も講演会であり、聴衆の意見を集約するものではありませんでした。これが一気に改善され、多くのスタッフが意見を述べるようになりました。まさに多様性のある人材が役職の上下なく、すなわち公平性のなかに、意見が包括されていくのです。これこそD.E.I.です。自分の企業を活性化したいロータリアンはすぐに職場でファシリテーションを導入すべきです。

ロータリークラブの講演会の問題点とは？

特に、ロータリークラブは企業のリーダーの集まりです。ロータリークラブなどの共同体組織では意見集約が基本です。みんなで考え、みんなで同意し行動する必要があります。しかし、ロータリーの仕組みや規則を知らなければロータリーのリーダーとして動けません。当然、ロータリーに

関するテーマで議論しながら、自らのロータリー観を確立することができるのです。

ロータリーの講演会での長時間の講義が多い事に問題があります。脳科学的には人間の脳の短期記憶（ワーキングメモリ）は7つのアイテムまでしか記憶できないし、「気をそらすと忘れやすい」という特徴があります。したがって、長時間の講義は頭に残りません。ワーキングメモリを考慮すれば、短時間に少ないテーマ（アイテム）を自分の頭で考え、他人の考えを考慮しつつ自分なりの考えを構築してゆくことが大切です。そうしないと脳の活性化は生まれません。ロータリーセミナーでの長時間の講演式講義では何の成果も生まないのはすでに嫌というほど経験しています。それがロータリーに興味を持たなくなる原因となります。

ロータリーを知る方法とRLI

「ロータリーって何だろう？」はふと立ち止まるロータリアンには必ず起こる疑問です。この疑問に多くの先人が疑問を解いてくれています。例えば、深川純一氏の「純ちゃんのコーナー」、佐古良尊氏の「ロータリーの森を歩く」などロータリーについての多くの著作が残されています。ロータリー文庫にもたくさん資料があります。また、身近にはMy Rotary、「ロータリーの友」などで、ロータリーの知識を知ることができます。そのようなロータリーの知識を知る目的としての一つにRLIの実践があげられます。

The Rotary Leadership Institute JAPANによれば、「ロータリーリーダーシップ研究会（RLI）は1992年元R I理事デビット・リンネット氏の提唱で始められ、世界各地の地区に組織された会員地区の他地区合同、草の根レベルの指導力育成プログラムです。RLIは、最近ロータリー・クラブに入会した会員を含む、潜在的なクラブ役員および他のクラブ会員を対象に、一連の質の高い指導力育成コースを実施しています。コースは、世界中の指導力とロータリーの知識を重視しています。」とあります。当然、ロータリーの将来のリーダーを育てるのに、RLIが必須であることに疑う余地はありません。毎年、余島で行われる全国RYLA研修セミナーも青少年のリーダー育成が目的ですが、野口清PDGによれば、ここでも会議にはファシリテーション方式が用いられているそうです。今年度、吉岡義春第2740地区RLI推進委員長は地区にロータリーの知識を高めるRLIを広げると言う目的達成に懸命です。前段階として、吉岡委員長は現在懸命にディスカッションリーダー（DL）育成に全力を傾けています。すでに今年度

13名のDLが育ったと聞いています。これは特筆すべきことです。吉岡委員長の御努力を実のあるものにするためにも次の提言をしたいと思えます。

提言

RLIを習得するにはまずは地区内にファシリテーターの育成が先決であり、かつファシリテーション形式（参加型）の会議のやり方に習熟する必要があります。次にファシリテーター役と参加者役に分かれての模擬会議ロールプレイングで、スキルの定着を図ります。その後でRLI研修に取り組むべきと提言します。

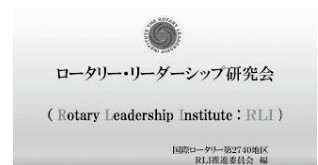
◎ファシリテーションの習熟には、次の内容が必要です。

- 1) ファシリテーターの修練（ファシリテーション形式で会議するリーダー）
- 2) 参加者（プロジェクト、問題意識を持った参加者）
- 3) 場作り（話しやすい会場作りと運営スキル）
- 4) テーマ選択

◎ファシリテーションの利点は次の5つです。

- 1) 納得できる合意を形成する。
- 2) 革新的アイデアが生まれる。
- 3) メンバーのやる気を創出する。
- 4) 参加者が会議の前と後で自分の考え方がどのように変化したか？の自分の考え方を構築できる。
- 5) 短時間、効率よい会議が設定される。

まとめ



RLIセミナーに参加される方々がファシリテーション＝RLIであると誤解してしまいます。すなわち、ファシリテーション「会議のやり方」とRLI「指導者育成方法論」を混同しているのです。

これからRLIの研修を受ける方々に、時間はかかりますが、前段階として、まずはロールプレイングによるファシリテーション模擬会議を何度も経験してみることです。そのうちに、会議のチームにブレインストーミングが起き、ロータリーの研修が楽しいものになると確信いたします。

その時にあなたのクラブは活性化のある楽しいクラブに変化するでしょう。

(了)

ロータリー財団委員会報告

2020年度グローバル補助金奨学生 賀来 敬仁

グローバル補助金奨学生 活動報告 2

2020年度ロータリーグローバル補助金奨学生の賀来敬仁です。活動報告1では、2020年8月渡米直後の状況を報告させていただきました。今回は、2021年に入ってCOVID-19のワクチン接種が始まってからの活動について報告させていただきます。

前回の報告に書いたように、2020年は全てがオンライン、そして私が留学した研究室でも人数制限があり、研究できる時間が限られるという問題がありました。家族は知り合いもできず厳しい状況にいましたが、Rotary Club of Ann Arborの方々のサポートもあり、徐々に知り合いを増やすことができるようになりました。アメリカでのCOVID-19に対する雰囲気が変わったのはCOVID-19ワクチン接種が始まってからです。2020年の終わりから医療関係者やエッセンシャルワーカーへのワクチン接種が始まり、私も2021年の1月と2月にワクチンを接種しました。医療関係者やエッセンシャルワーカーへの2回目の接種が終わったぐらいから、医療機関、行政施設、そしてバスなどの公共交通機関での制限が徐々に緩和され、マスク着用を前提として社会活動が徐々に再開されました。学校でも、先生たちのワクチン接種に目処がついた3月終わりから週2回の登校が開始となりました。一般人向けのCOVID-19ワクチンについても最初は予約がなかなか取れない状況でしたが、私の家族も4月ようやくワクチンを接種できました。ちなみに、その時は自宅から車で30分ぐらいのPlymouthという街でワクチンを接種したのですが、会場の運営を地元のThe Rotary Club of Plymouthの方々がされていて、ロータリークラブの幅広い活動を改めて知ることができました。

大人向けのワクチン接種に目処が立った5月ぐらいから、まだマスク着用やソーシャルディスタンス確保などの制限はあるものの、スポーツイベントを含めてさまざまな経済活動が一気に再開されました。2021年の夏にはCOVID-19の新規患者数がかなり落ち着いたため、室内での大人数での会食についての制限も解除され、9月にこちらのロータリアンの方々と直接交流することができました。私の留学先での制限もほぼ解除され、留学してから1年後でようやく全てのラボメンバーと一緒に研究ができる状況になりました。制限解除後も、COVID-19の新規患者数が増加したタイミングがありましたが、アメリカ全体の雰囲気としてCOVID-19は無視できない存在だけれども以前と同じような社会生活を送ることを目指すという強い意志がありました。この点は、ネットを通じて知る日本の状況とは全く違うということを感じていました。次回は、2022年の活動について報告させていただきます。



2021年4月に家族のワクチン接種で訪れた会場では、ロータリアンの方々が受付や誘導などの会場運営をされていました



2021年9月にMrs.Maryの自宅でロータリアンの方々と交流したときの集合写真

「識字率向上」に向けた2740地区ロータリー財団の国際支援事業

ロータリー財団委員会 委員長 岡村 康司 (長崎南RC)

タイ北部・チェンライ県メースワイ郡にあるアカ族子供寮「センスック」に立派な新築トイレが完成して、シャワー付き4部屋も完成しました。

今年1月に着工したこの支援事業は当地区2740地区事業として長年アカ族の子供たちの識字率向上に全力で活動されている一人のロータリアンを支援する形で財団の事業が実現しました。支援額は632,390パーツ（日本円で2,460,000円）でした。

その方はタイ国立ダムロンラトソククロ高校の日本人教師でチェンライロータリークラブ・パスト会長の原田義之さん（79才）です。

私と原田先生が交流を始めたのは、4年前の2019年2740地区のロータリー財団委員長を拝命した年、当地区の駒井パストガバナーからのご紹介でした。原田先生が日本におられた同年9月に神戸空港で面会が叶いました。

そこでアカ族の子供たちの現状をお聞きし直ちに11月のロータリー財団セミナーの講師も引き受けていただきました。セミナーに参加したメンバーは皆衝撃を受けて原田先生のロータリアンとしての偉業を知りました。

コロナが襲来したのはそれから間もなくのことで財団の活動も制限され3年が経ち、状況が小康状態となった昨年2022年8月再び神戸空港で先生とお会いし念願であった2740地区ロータリー財団からの支援を申し出たのでした。



新築トイレ完成を喜ぶアカ族の子供たち



*アカ族はタイ北部の海拔800メートル以上の山岳地帯（ラオス、ミャンマー、中国雲南省の国境付近）に住む少数民族で焼き畑を中心とした農耕生活を営む民族でその生活は極貧という状態です。子供たちは学校に行けないので読み書きができません。アカ語とタイ語は異なる言語のためタイ語が話せないアカ族の子供たちは、成人した後も厳しい生活を強いられています。そこで、アカ族の青年たちが立ち上がり、子供たちの識字率向上のために「アカ族寮」を作りました。子供たちは家を離れこの寮で9年間生活します。

原田先生は私財を投じて寮費を払えない子供107人に給食と生活物資を与えました。そのうちの34人には日本のロータリアンに里親支援をお願いしてあります。ロータリアン一人年間550円で実現する支援事業です。この「里親支援制度」についてはまた折を見てお伝えしたいと思います。

国際青少年交換委員会報告

◆交換学生マンスリーレポート（2023年2月分より）

① 川添 陽斗さん （スポンサーRC：唐津RC）

例会出席回数 1回/月

大雪で何回かミーティングが中止になった。

●その他近況等の報告

皆さんこんにちは。川添陽斗です。最近積もっていた雪も徐々に溶けてきたかなと思ったらまた大雪になったりして、日によって天候がものすごくバラバラです。ですが徐々に暖かくなって来ているので少しずつ外でも活動しやすくなりました。寒すぎて学校が休みになったことが4回ほどあったのでこれも寒い地域ならではのハプニングなのかなと思いました。気のせいか0度が少し暖かく感じる時があります。逆に日本に帰ったら夏に耐えられないかもしれません。

2月4日 ウィスコンシン州のロータリー留学生たちとミルウォーキーに1泊2日で旅行に行きました。まずはみんなで夕食を食べた後に映画館に行ってアバターの新作を見ました。3Dでとても迫力がありました。3時間近くあったのでとても眠くなりました。

次の日には博物館に行って恐竜の化石や世界中の歴史についての展示物を見ました。日本については中庭やカルタなどが紹介されていました。

次にプロのアイスホッケーの試合を見に行きました。選手たちが凄い勢いでぶつかりあってとても迫力がありました。20分に1回は喧嘩が起きていました。それを見るのも魅力のうちの一つだそうです。とても面白かったです。

2月12日 家でスーパーボールという一年に一度のフットボールの決勝戦がありました。フットボールファンが一番熱くなる日です。今回はチーフスというチームとイーグルスというチームが決勝に上がりました。わたしはカンザスシティに行ったことがあったので、その街を本拠地としているチーフスを応援しました。試合は最後までどちらが勝つか分からないぐらい白熱した試合でした。残り数分でチーフスが点数を離して勝利しました。次の日学校にはフットボールのボールを持った生徒がちらほらいました。一日中フットボールの話になっていてアメリカでのフットボールの人気さを感じました。

2月19日 家族とウィスコンシン州にあるとても有名なスイミングプールに行きました。街の各部に大きなプールがたくさんあり、ひとつの街がエンターテインメントと感じるようでした。ホテルもとても綺麗でホテルと感じさせないようなまるで一軒家のような大きな部屋でした。プールに入ったあとはみんなでゲームセンターに行ってゴーカートに乗ったり、VRでアメリカを旅するという乗り物に乗りました。一日中遊びまくってとても疲れたけど本当に楽しかったです。

2月25日 教会のアクティビティでウィスコンシン州中から人が集まってみんなでご飯を食べたり、ダンスをしたりしました。沢山のひとと話して、たくさんの人と友達になりました。メキシコから来た留学生ととても仲良くなりアメリカでの生活を一緒に話し合いました。苦勞していることはほぼ同じで世界中の人も自分と同じように勉強をしてるんだなと感じました。また、お互いの国の言語を教えあってとても良い時間を過ごすことが出来ました。

4月からホストファミリーが変わるので残りの1ヶ月をこの家族と悔いがないように楽しみたいと思います。



② 堀川 純二郎さん (スポンサーRC：雲仙 諫早南RC)

例会出席回数 1回/月

2月25日にこちらの地区から海外に行く留学生といまここにきている留学生との対面する機会がありぼくはそこで何を気をつけるといいのか、現地の人と仲良くなる方法などを簡単に発表しました。みんないい子たちで話していて本当に楽しかったです。また、かれらがロータリアンの方々とこれからについてなど話し合っている間、僕たち留学生はボウリングに行きました。日本では学校の近くにボウリング場があり、よく行っていて、普通に投げると勝っておもしろくないのでスピントナーで投げました。調子に乗りすぎスコアが100にもいきませんでした、たのしかったです。

●その他近況等の報告

今月はいつもの月に比べて驚くようなことやめちゃくちゃ面白い話はないんですが、バレンタインデーの日、日本では男の子が女の子にチョコをもらう日ですが、ぼくは……チョコをたくさんもらいました！) チョコだけではなく、コーヒーの粉や、バラなどいろいろもらいました！一番うれしかったのは、ジムの方にプロテインドリンクとバーの詰め合わせをもらったことです…筋肉が泣いて喜んでました。

また、ぼくの街には200年前からある映画館があり、そこでホストシスターが働いているので、たまに映画が変わったとき見に行きます。今どきの映画は煙や、水、雪、振動、立体など様々なものがあり、それはそれでたのしいですが、歴史を感じながら映画をみるのも楽しいと思いました。

3月はいろいろやっていく予定なので来月のレポートは今月の倍以上は書くつもりです。

レポート遅れすいませんでした。



③ 馬場 心路さん (スポンサーRC：雲仙 諫早南RC)

例会出席回数 4回/月

今月はオリエンテーションがありました！街中で宝探しをしました！他の人と協力して達成できたのが良かったと思います。



④ 鬼塚 夏星さん (スポンサーRC：諫早北RC)

例会出席回数 0回/月
 今月は参加していません。

●その他近況等の報告

2月から学校は二つ通っています。午前中は今までの学校に通い、昼からはまた別の学校に中国語の授業を受けに行っています。今までは週に2回1日2時間の授業だったので今は中国語の授業をより多く受けることができます。1月はまだきついと思う部分が結構ありましたが、2月は新しい仲間ができて、楽しい日々を送っています。登下校で2時間以上かかってしまうのが少きついと思うことはありますが、昼からの学校が楽しいので苦になりません。

また、2月18日に中国語のテストとスピーチコンテストがロータリーで行われました。このコンテストで1位を取るために勉強に励んできましたが、結果は2位でした。今までの生活でバレーボールの大会などでも、2位という結果はあまり経験がなかったのですが、今回本気を出した結果の2位でかなり悔しかったです。しかし、2位になった事にも意味があると思うことができました。もしここで1位を取っていたらこれ以上私は求めようとしなかったかもしれません。この2位が、今の私の大きな原動力となっています。5月末に私が以前受けた中国語検定をもう一度受ける予定なので、現在はそのテストで一つでも二つでも高いレベルに合格できるように勉強に励んでいます。

2月末には台北に行きました。夜に九份に行ったり、博物館に行ったりしました。今までで一番楽しい旅行になりました。

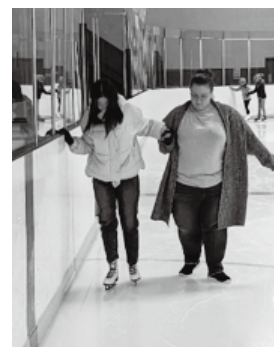


⑤ 北島 悠香さん (スポンサーRC：諫早RC)

例会出席回数 1回/月
 日本についてのプレゼンテーションをしました。うまくできて良かったです。

●その他近況等の報告

新学期になって新しい友達もできました。残りの数ヶ月も頑張りたいです。



2022～2023年度 国際ロータリークラブ第2740地区

第1・第2グループ合同、インターシティーミーティング（IM）報告
テーマ「SDGsとロータリアン」第1グループガバナー補佐：**大家 和義**（小城RC）第2グループガバナー補佐：**笠 慶宣**（佐賀南RC）

今回のIMは、ホストクラブ佐賀北ロータリークラブの主催で実施して頂いております。これは、年度当初に第1・2グループのガバナー補佐との会長・幹事会議にて、年中行事（合同例会・IM・親睦ゴルフ等）を輪番制にてホストクラブを決定しており、実施についてはホストクラブの判断に一任し、テーマはロータリーの件での勉強会です。

今回のテーマは、「SDGsとロータリアン」での勉強会です。

今回は、佐賀県が推奨している「SDGs」を実践されている二社の方より、会社の紹介とその内容を発表して頂き、会員各位の企業に取り入れて頂くことを願っております。

まずは、雪竹あゆみさん（神埼RC）が専務取締役を務める(株)西村商店の社内での実践目標を各社員に担当させて、情報の共有化を図り無駄を無くし、売り上げ増進が出来た紹介を戴きました。次に、高嶋亜里沙さん（田島(株)総務監理部：社長、佐賀RC）が、会社の業務ごとにグループ分けをし、全ての情報が共有出来る様にし、報連相を実践している事を発表して頂きました。

その後、二人の方と、佐賀市長 坂井英隆氏とコーディネーター大野博之氏による、パネルディスカッションを短時間ではありましたが開催して頂きました。

最後に、駒井パストガバナーより、「IM」の総評を頂き、閉会致しました。

ロータリアンとして継続し続けるためには、職業・社会・平和・新世代奉仕の精神と理念を育み、「継続は、力なり！！」で、後世の方々に引き継ぐ事が出来たら、幸いかと思っております。

休憩を挟んで、親睦と融和を育む「懇親会」を開催し、第1・第2グループの会員各位と、上村ガバナー・山下地区幹事にも参加して頂き、有意義な親睦会で有ったと思っております。

詳しくは書けませんでしたので、IMのプログラムの表紙の下部のQRコードより読み込めますので、会員各位で勉強して下さいませ、お願いします。

第1・第2グループIMのご報告

佐賀北RC 会長 田中 雄一郎

去る2月11日（土）、HOTELグランデはがくれにて、第2740地区 第1・第2グループ合同のインターシティミーティングを開催いたしました。

今年度は「SDGsとロータリアン」をテーマに掲げ、大家和義ガバナー補佐、笠慶宣ガバナー補佐ご指導のもと、佐賀北RCがホストを務め、上村春甫ガバナー、駒井英基パストガバナー、山下雄司地区幹事にご出席賜り、200名近くのロータリアンにご参加いただきました。

第1部の基調講演では、佐賀SDGs官民連携円卓フォーラム幹事長の大野博之氏に講師としてお越しいただき、SDGsとは何か、また、SDGsについてロータリアンが取り組むべきこと等を非常に分かりやすく、また、いろいろな角度からお話しいただきました。

第2部は、事例発表として、神埼RCの雪竹あゆみ幹事並びに田島株式会社総務管理部の高嶋亜里紗氏にお越しいただき、それぞれの会社でのSDGsへの取り組み方やそこに至った経緯、また、従業員の意識や地域住民の反応の変化など、様々な貴重な経験をお話しいただきました。

また、第3部は、坂井英隆佐賀市長にもご登壇いただき、大野氏、雪竹氏、高嶋氏との四者でのパネルディスカッションを行っていただきました。佐賀市としての考え、また、SDGsについて佐賀市と企業が協力し合える今後の取り組み等、これからSDGsに取り組もうとする企業にも大変参考になる内容で、ロータリアンの皆様の理解も深まったものと思います。

その後の懇親会では、久しぶりの大人数の親睦の場ということもあり、大いに盛り上がり、第1・第2グループの親睦がさらに深まりました。

最後に、ご出席いただいたご来賓の皆様、また、第1グループ、第2グループのロータリアンの皆様のご協力により無事IMが開催できましたこと、心より感謝申し上げます。



2023年1月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	73.8	74	6	76	7	0	1	-1	2
	小城	3	57.6	29	4	28	4	0	1	-1	-1
	牛津	3	88.8	30	0	32	0	1	0	1	2
	多久	3	73.0	34	5	36	6	0	0	0	2
	佐賀大和	3	67.9	26	5	28	5	1	0	1	2
小計		72.2	193	20	200	22	2	2	0	0	7
第2グループ	佐賀西	3	71.6	41	4	42	4	0	0	0	1
	佐賀北	3	56.4	44	3	44	3	0	0	0	0
	佐賀南	4	73.8	36	3	39	4	0	0	0	3
	神埼	4	79.6	35	4	38	4	0	0	0	3
	佐賀空港	1	64.7	17	0	17	0	0	0	0	0
小計		69.2	173	14	180	15	0	0	0	0	7
第3グループ	有田	4	71.0	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	3	80.0	43	2	45	3	0	0	0	2
	鹿島	3	85.0	30	3	31	4	0	0	0	1
	嬉野	4	77.0	27	1	27	2	0	0	0	0
	大町	3	62.5	14	0	16	0	0	0	0	2
	太良	3	92.6	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		78.0	154	8	159	11	0	0	0	0
第4グループ	唐津	4	89.2	57	0	54	0	0	0	0	-3
	伊万里	4	81.5	31	0	29	0	0	2	-2	-2
	唐津東	3	81.5	48	0	50	0	1	0	1	2
	唐津西	3	88.6	28	0	27	0	0	0	0	-1
	伊万里西	3	97.0	36	1	39	2	0	0	0	3
	唐津中央	4	82.0	35	5	35	5	0	0	0	0
小計		86.6	235	6	234	7	1	2	-1	-1	
第5グループ	佐世保	3	78.6	74	0	73	0	0	0	0	-1
	平戸	3	82.6	24	1	23	3	1	0	1	-1
	北松浦	4	88.6	22	0	23	1	0	0	0	1
	佐世保西	4	72.8	22	3	23	4	1	0	1	1
	松浦	3	86.8	25	1	27	1	0	0	0	2
小計		81.9	167	5	169	9	2	0	2	2	

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第6グループ	佐世保南	4	100.0	59	1	62	2	0	0	0	3
	佐世保東	3	82.4	24	0	23	0	0	0	0	-1
	佐世保北 (衛星クラブ)	3	100.0	50	4	54 (11)	5	0	0	0	4
	佐世保中央	3	86.1	48	1	52	2	0	0	0	4
	佐世保東南	3	65.0	34	1	32	0	0	0	0	-2
	HTB佐世保	4	76.4	22	3	24	3	2	0	2	2
	小計		85.0	237	10	247	12	2	0	2	10
第7グループ	大村	2	92.1	40	4	41	4	0	0	0	1
	島原	4	82.9	29	2	29	2	0	0	0	0
	大村北	2	78.0	26	1	26	1	0	0	0	0
	島原南	3	62.0	15	0	15	2	0	0	0	0
	大村東	3	81.0	34	4	36	4	0	1	-1	2
小計		79.2	144	11	147	13	0	1	-1	3	
第8グループ	諫早	3	86.2	73	0	76	0	3	0	3	3
	諫早北	3	72.0	78	4	79	4	1	0	1	1
	諫早西	2	100.0	50	1	54	1	6	0	6	4
	諫早多良見	4	95.5	28	0	29	1	0	0	0	1
	雲仙諫早南	2	80.0	18	6	20	6	0	0	0	2
	小計		86.7	247	11	258	12	10	0	10	11
第9グループ	長崎	3	85.0	59	0	61	0	0	0	0	2
	福江	3	85.9	29	0	30	0	0	0	0	1
	長崎北東	2	64.3	38	2	39	2	0	0	0	1
	福江中央	3	97.9	16	1	17	1	0	0	0	1
	長崎西	4	73.4	35	0	36	1	1	0	1	1
	長崎琴海	3	61.1	7	0	7	0	0	0	0	0
	小計		78.0	184	3	190	4	1	0	1	6
第10グループ	長崎北	3	88.6	73	0	75	0	0	0	0	2
	長崎南	2	82.1	70	0	67	0	0	1	-1	-3
	長崎東	4	72.3	37	1	36	1	0	1	-1	-1
	長崎みもと	3	81.4	28	0	29	1	0	0	0	1
	長崎中央	3	94.2	50	1	47	1	0	0	0	-3
	長崎出島	3	71.8	71	8	73	8	2	0	2	2
	小計		81.7	329	10	327	11	2	2	0	-2
55クラブ合計		80.0	2,063	98	2,111	116	20	7	13	48	

*上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2022年7月1日から2023年1月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に記載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に記載させていただきます



佐賀大和 R C

野田 直嗣 君
野田建設株式会社
代表取締役



牛津 R C

古賀 正弘 君
佐賀冷凍食品(株)
代表取締役



唐津東 R C

渡辺 寛史 君
(株)コンロッド
代表取締役CEO



平戸 R C

吉田 充代 君
株式会社吉田自動車
代表取締役



佐世保西 R C

長濱 かおり 君
みなとまち社会保険労務士事務所
代表



HTB佐世保 R C

辻 栄太 君
(株)SPARK JOY
施設長



HTB佐世保 R C

山口 寛人 君
山口司法書士事務所
代表司法書士



諫早 R C

馬渡 仁 君
(株)シンテック
代表取締役社長



諫早 R C

山本 道雄 君
ミヤマディベロップメント(株)
代表取締役



諫早 R C

本多 勝雄 君
(有)本多工務店
代表取締役



諫早北 R C

川下 友久 君
ソニー生命保険(株)



諫早西 R C

植杉 親優 君
nps (株)
代表取締役



諫早西 R C

木村 隆二 君
(株)三恵
代表取締役



諫早西 R C

酒井 和幸 君
(株)明和電気
代表取締役



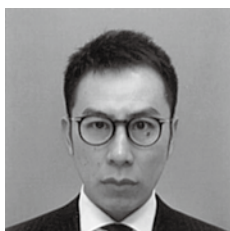
諫早西 R C

濱下 伸人 君
(株)H&S
代表取締役



長崎西 R C

今村 淳 君
(株)竹中工務店
長崎営業所 所長



長崎出島 R C

寺岡 誠三 君
土地家屋調査士法人寺岡事務所
代表社員



長崎出島 R C

伊藤 信博 君
(株)ファイブコンサル
常務取締役

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
マルチプルポールハリスフェロー	上村 昇	佐世保南
	松尾 恒己	佐世保南
	小鳥居 湛	諫早多良見
ポールハリスフェロー	馬場栄一郎	鹿島
	補伽圭史郎	鹿島
	曾和 英徳	佐世保南

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者メジャードナー	小川 信	佐世保南
米山功労者マルチプル	野田 大介	佐世保南
米山功労者	大坪 進	長崎みなと
米山功労クラブ		長崎みなと

ポリオ・ワンコインBOX報告	今月分BOX金額	累計金額
	207,082	2,219,734

* 地区月信編集委員会からお詫びと訂正 *

月信3月号掲載に誤りがありました。

◇訂 正：P3 ウクライナに「カイロ」を送りました！

(誤) 発送期日：2022年1月18日

↓

(正) 発送期日：2023年1月18日

ここに訂正し、お詫び申し上げます。

肥前國 の 風景

長崎街道・塚崎宿
〔佐賀県武雄市〕

神功皇后が朝鮮半島出兵から帰国し養生されていた折、夢で『ここから西方三日の行程のところに温泉があります。これに浸かれば回復が早いでしょう』という神のお告げがあったので有明海を渡り武雄に上陸し、桜山に行かれ、岩の割れ目を槍の柄で突かれると熱い湯が湧き出したことから『柄崎温泉』と呼ぶようになったとのこと。



淵ノ尾峠越え



柄崎神社



塚崎宿内の札の辻
(高札場跡)



中村涼庵旧宅前から嬉野宿方面を見る

編集後記

本号編集に当り長崎街道と歴史の一部を垣間見ることができ、塚崎道内だけでも多様な建造物があって、街道歴史に繋がりと親しみまで感じ得ました。

調査中には武雄市こども教育部文化財係様、武雄温泉センター様には度々の訪問にもかかわらず快くご対応頂き深く御礼申し上げます。

4月1日2日は、武雄温泉の春祭りです。たまには、歴史を感じながら癒しの温泉も如何でしょう……！（高）

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒849-0913 佐賀県武雄市兵庫町大字淵4604-1
TEL 0952-37-3138 FAX 0952-37-3139
E-mail ri2740uemura@shunyoukai.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

